



さしつ子便り

唐津市立佐志小学校
学校だより 第17号
令和7年11月28日(金)
文責:校長 平山美代子

学校教育目標 「わたしらしく あなたらしく 輝くさしつ子」～気づき・考え・実行する子どもの育成～

『木の葉ふりやまづ いそぐな いそぐなよ』 加藤楸邨
木の葉がハラハラと降り止まない。いそぐな、いそぐなよ、という意味。

季節を山の様相で表す言葉があります。「山笑う(春) 山滴る(夏)
山粧う(秋) 山眠る(冬)」紅葉が美しく山を粧うこの季節をもう少し
長く楽しめたらと私は思います。



学校園の風景～お花好きな仲間が植えた
コスモスとヒマワリがもうすぐ見頃を迎えます

11/21 ブルーカーボン プログラム 「ワカメ種付け体験」

～佐志の豊かな海を守ろう～ 佐志小の5年生は、海の環境学習の一貫として、地元のからふさ研究会様、県水産振興センター様の指導を受け、ワカメの種付け、収穫体験をこれまで行ってきました。5年目となるこの体験ですが、今年は新たに市環境課、日本航空、九州大学とも連携し、「ブルーカーボンプログラム」として活動することになりました。海藻類や藻は海の二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を食い止め、海を浄化させる効果があり、SDGsを推進する企業の日本航空にも活動が認められたのです。

水産振興センターの梅田様より「ワカメの養殖について」、九州大学の早渕教授より「ブルーカーボンについて」、日本航空より「SDGsについて」講話を聴いた後、どんどん川河口に行き、からふさ研究会様の指導で実際に種付け体験をしました。まだ1センチにも満たない小さなワカメの種が均等に植え付けられた糸を50メートルのロープ、4本に少しずつ巻き付ける作業を全員で行いました。これが2月には1.5メートルくらいに成長するそうです。その後、海岸ごみ拾い清掃をみんなで行いました。ワカメが順調に成長し、佐志の海がいつまでも豊かであり続けてほしいと願いながら作業をしました。

〈児童の感想〉

- ◆ワカメのことについて調べました。ワカメのどの部分をロープにつけて海に入れて養殖するのかが、分かりました。二酸化炭素を吸収する働きがあるワカメ。収穫が楽しみです。(5年さん)
- ◆ワカメはCO₂を吸収し、海をきれいにすることも分かりました。佐志の海がきれいになるといいです。(5年さん)
- ◆ワカメの種付けの仕方やワカメがCO₂を吸収してくれて、地球の環境を守ってくれていることが分かりました。だから私は海や木がある場所、CO₂を吸収してくれる場所を、できるだけきれいにしたいと思いました。(5年さん)



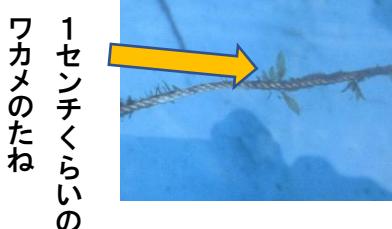
日本航空グランドスタッフさんの講話



ワカメの種をロープに巻き付ける様子



日本航空のスタッフさんと一緒に



ワカメのたね
1センチくらいの



巻き付けたロープを海の養殖場まで
船で運ばれる様子



海岸清掃活動

11/20 キャリア教育 「サガン鳥栖夢教室」 豊田陽平さん来校

元プロサッカー選手、元サッカー日本代表の豊田陽平さんが、5・6年生を対象にキャリア教育の為に来校されました。小2でサッカーをはじめ、サッカー選手になりたいという夢を追いかけ、それを叶えるためにしてきた努力と苦労についてお話をされました。

豊田さんいわく、「小さな気づきが夢を叶える力になる」ということ。周囲の小さなことへの気づきがやがて変化を生み、夢を叶えるための財産となる。気づいた時に苛立ちや不安も出てくる、しかし、それも気づきのきっかけ。自分で考えながら親や先生に相談して違う視点の意見を聞いて、ポジティブなエネルギーに変えるのも夢や目標にたどりつくチャンス。日々の生活の中では「努力」と「感謝」が大切。ありがとうございました言おう、言えない時は心の中で言ってみようといわれました。華々しい活躍の裏に相当な努力とそして苦難もあったそうです。常に努力し、感謝の気持ちで周囲に接した結果、運が自分に向いてきた、学生時代は勉強もしっかり頑張ったと子どもたちを鼓舞し、励ましてくださいました。



〈児童の感想〉

◆「気づき」という言葉が心に残りました。気づけるようにアンテナを張って生活したいです。そして、心の中ありがとうを、これからもしっかり言いたいです。(5年 さん)

◆私は最初は自分のお店を作りたいと思っていたけれど、あきらめようと思っていました。でも今日の話を聞いて、やっぱりあきらめたくないなと思いました。豊田さんのように夢をかなえるために、努力と感謝をして、夢を追いかけたいなと思いました。「ありがとう」を心の中でとなえると良いというのを親からも聞いていたので、一緒のことをしている人もいるんだと分かりました。(6年 さん)

◆僕は今日、豊田さんの話を聞いて自分の夢に確信をもつことがでました。大切に思ったことは「夢を叶えるために習慣にしたこと」の話だと思いました。アンテナを張る→気づいたら考える→考えているうちに新たな気づき(発見)発見が生まれる、を繰り返してどんどん成長していきたいです。ぼくも豊田さんと同じように、どこに行ってもボールを持って行ったり、一人で練習をしたりしているので似ているなと思いました。一番いい言葉は「ありがとう」夢や目標に近づく魔法の言葉。繰り返して心の中で唱えていたとおっしゃっていたので、自分も自分なりの言葉を唱えたいと思いました。(6年 さん)

11/17～19 「3・4年 そろばん教室」



今年も3・4年生を対象に、福島克己先生、祥子先生が指導に来てくださいました。「ねがいましてはあー」先生の発声と共に、子どもたちが玉をはじく音が一齊に響きます。そろばんを身近に感じることができた楽しい授業でした。



入賞おめでとう

◆令和7年度 学童美術展 県審査 11/20

〈県特選〉 4年	さん
6年	さん
〈県準特選〉 2年	さん
〈県入選〉 4年	さん
4年	さん

◆「全日本 ピアノコンクール ブロック大会」

〈特選〉 1年 さん

◆秋の唐津市教育長表彰 11/6

5年 さん

*相撲全国大会入賞の功績を称えられて。

職員 先生

*14年間に渡る市内の児童生徒見守りを称えられて。